

編 集 後 記

社会技術革新学会の論文誌「技術革新と社会変革」の創刊号を会員各位にお届けできる輝かしい日を迎えました。創刊日に際し、本誌完成に関わられた各位に厚く謝意を表したいと思えます。

本会理事長、増田優氏からは、知の市場の要の一つとして本誌誕生の起点を頂戴した。

本誌に投稿された各位は、それぞれが現に関わり、あるいはこれまで関わってこられた現場を起点とする知識と“ものの見方”を社会技術革新学として体系化し、現場起点学の規範となる第一歩を構築してくださった。

本誌編集に際し、増田理事長、中島幹氏、大川原正明氏、齋藤浩氏をはじめとする編集委員各位には、激務の中、論文誌誕生のために多大なご尽力をいただいた。また、中嶋稚子氏は夏期休暇中の酷暑が続く中、編集業務専門職としてのスキルを傾注くださった。各位の豊富な経験と鋭い勘、知的執筆活動、情熱、貢献心により、専門誌としての本誌誕生の日を迎えることができた。

本誌掲載論文が課題として選んだ研究対象の範囲は極めて広い。忙しい日常生活の中、読者は往々にしてキー・ワードで読むべき論文を選択するかもしれない。キー・ワードが合致すれば当該選択は妥当であろう。しかし、現場起点の発想の極意を得たいという野心のある読者は、そのような選択方法ではなく、本誌編集委員会が慎重な審議を重ねて掲載を決定した論文全体に是非、目を通していただきたい。知の交流こそ現場起点学を学習するための有効手段だと考えるからである。

本誌を読んで得るものがあつたら、是非、周囲の人に本誌に触れることをお勧め願いたい。また、周囲の人を含め、現場起点の視点をまとめ上げることに躊躇している人があれば、是非、投稿をお勧め願いたい。この論文誌への投稿や講読により各位がますます発展することを願い、また、本誌自体も大きく社会貢献したいと考える。

本誌編集委員長 太田口和久